

第 1 回認定心電検査技師、認定試験行われる！

去る 11 月 11 日曜日、池上会館にて認定心電検査技師の認定試験が行われました。

池上会館とは、日蓮聖人が病氣療養のために身延山から常陸の湯に向かう途中立ち寄り、弘安 5 (1282) 年 10 月 13 日 61 歳で入滅された霊跡で有名な池上本門寺の横にある大田区営の会館です。受験者を 50～60 名と予想し日臨技会館での試験を予定していましたが、最終受験者が 124 名となり、嬉しい悲鳴とともに急遽、会場を変更しました。

この記念すべき第 1 回試験を受験された 124 名の方々の地区別割合は図 1 の通りでした。所属会員数との対比をしていませんが、全国の技師の方々がこの試験にトライされたことが伺えます。また、受験者の中には各地区でリーダーとして活躍されている方も多く参加されており、待ち望まれていた認定試験であったことを再確認させて頂きました。

この認定試験は、標準 12 誘導心電図検査、負荷心電図、ホルター心電図、モニター心電図、加算平均心電図等の心電図に関する歴史、電気生理、検査法、波形の読み方、臨床に関する知識と技能を評価するものです。それとともに、この認定センターの試験では、職能人としての人物評価をしています。これが国家試験や他の認定試験と違うところです。

では、試験会場の様子を報告します。

池上会館が 9 時開館という事もあって、9 時 30 分からオリエンテーション開始の予定でしたが、9 時前に 50 名以上の方が集まっていたため、公的施設としては珍しく時間前に入室の許可が出る状態でした。

オリエンテーション、指定研修のために受験生全員を 1 室に入室して頂きましたが、各席の受験票配付、受験生の席案内、そして事務局の準備が短時間に出来たのは、受験生の皆さんの協力によるものと感謝申し上げます。

その後、9 時 30 分から予定通りオリエンテーションを行い、5 分程早めでしたがそのまま指定研修を行いました。指定研修とは、今回の試験を第 1 回過渡的試験とし、実技試験の代わりにビデオ映像による研修を行いました。会場の関係で試験前にこの研修を行った為、受験生にとっては知識の再確認になったかもしれません。

指定研修終了後、2 室に分かれて 25 問 60 分の筆記試験を 2 回、15 分の休憩を挟んで行いました。

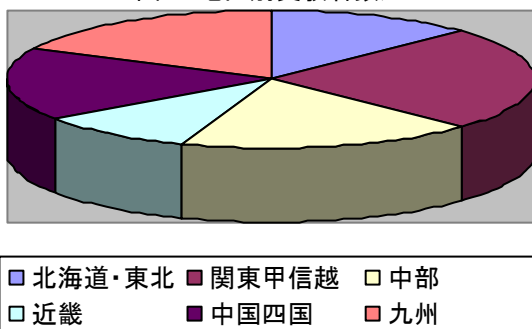
試験開始後、15 分くらいで全問答えを書き終えた人、問題集に解答を書いて最後の 15 分くらいに解答用紙に書く人等々、そのスタイルはまちまちでした。試験時間の半分、30 分を経過すると途中退出可能となりますが、全員途中退出することなく、何回も何回も見直しをする姿が目に入りました。10 時 45 分から 1 時間、そして昼食を摂ることなく 12 時から 1 時間の試験が行われました。試験終了後、朝から今日半日聞くことが出来なかった明るい声が聞こえてきた時、この試験のプレッシャーが大きかったと感じさせられました。以上、受験された皆さん全員が合格されることを祈

念しつつ、認定心電検査技師認定試験の風景を報告させて頂きます。

【高木義弘】



図 1. 地区別受験者数比



榊 添 要 一 厚生労働大臣と面談・・・

去る 11 月 19 日(月)午後 2 時 30 分より、厚生労働大臣室において榊添要一厚生労働大臣と面談した。当会は来る 2 月 8 日に“法人化 45 周年記念式典”を挙行し、全国で約 90 名の臨床検査技師が「厚生労働大臣表彰」を受彰できるように折衝している。今回は、そのお願いと当会事業の要望を行った。同大臣は、肝炎関連検査も我々臨床検査技師が行っていることは認識されていたが、それに加え「検査結果報告に要する時間やデータの管理」などについて前向きな発言をされた。最後に、「検査技師の皆さんは、国民の健康を守るため地道な仕事であるが頑張っていたきたい。」と話された。僅かな時間ではあったが、この面談は当会にとって有意義なものとなるよう活動する必要がある。



【高田鉄也】